

DIAM世界環境ビジネスファンド 愛称:シロクマ

追加型投信 / 海外 / 株式

月次運用レポート

2012年5月

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

- 主として世界各国の環境関連株式への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
- 環境関連ビジネスから収益を上げることが期待できる世界各国(含む日本)の環境関連企業の株式へ投資します。
 - ポートフォリオ構築に当たっては、「クリーンエネルギー関連」「水資源関連」「廃棄物処理関連」の3つのセクターに注目します。
 - 銘柄選定に関して、インパックス アセット マネジメントから投資助言を受けます。なお、運用の一部をDIAM International Ltdに委託します。
 - 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク……… 当ファンドは、株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 個別銘柄選択リスク… 当ファンドは、分散投資が行われている一般的な株式投資信託と異なり、主として環境関連企業の株式への投資を行いますので、銘柄構成が特定業種に集中する傾向や個別の銘柄の組入比率が高くなる傾向があり、当ファンドの基準価額が大幅にまたは継続的に下落する可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。また、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。
- 為替リスク……… 当ファンドは、組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 信用リスク……… 投資する株式や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 流動性リスク……… 当ファンドは、市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- カントリーリスク……… 投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※当資料は6枚ものです。P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

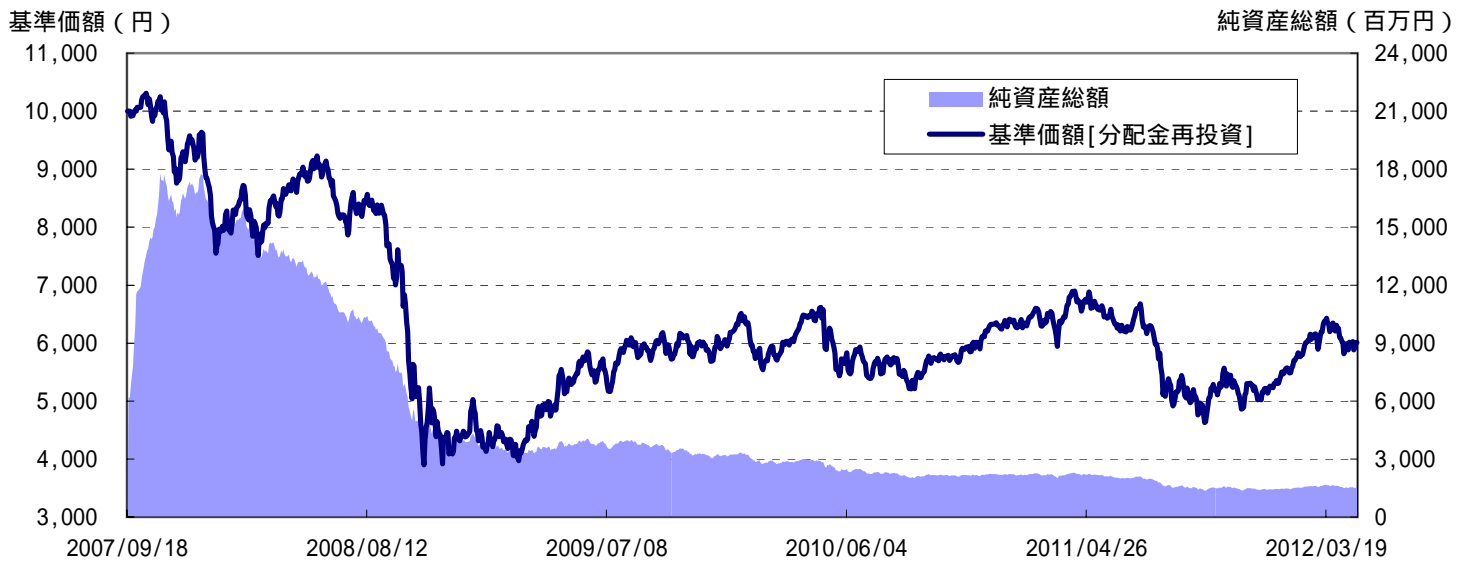


商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会： 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

D I A M世界環境ビジネスファンド（愛称：シロクマ）

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート（2012年5月）

運用実績の推移



（設定日：2007年9月19日）

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

（決算日の当日基準価額は税引前分配金込み）

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額	
基準価額	6,007 円
解約価額	5,989 円
純資産総額	1,528 百万円
設定日	2007年9月19日
決算日	6月25日 (休日の場合は翌営業日。)

ポートフォリオ構成	
実質組入比率	97.7 %
内現物等組入比率	97.7 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	2.3 %
組入銘柄数	52

比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

分配金情報（税引前）	直近3年分
第2期（2009.06.25）	0 円
第3期（2010.06.25）	0 円
第4期（2011.06.27）	0 円
累計分配金	0 円

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

騰落率（税引前分配金再投資）						
	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-3.27%	9.54%	7.92%	-12.70%	-8.69%	18.93%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

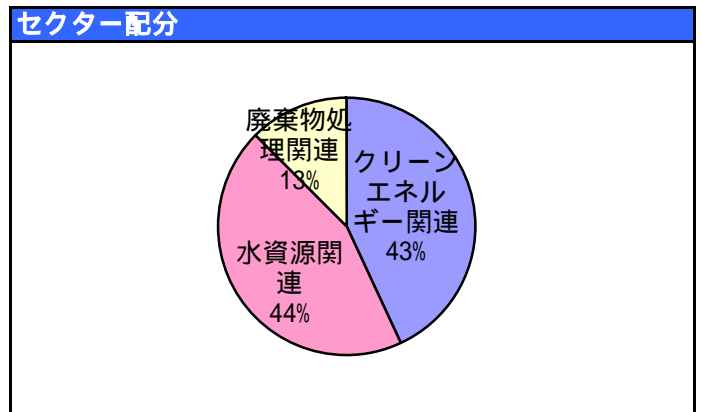
当資料は6枚ものです。
P. 6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAM世界環境ビジネスファンド（愛称：シロクマ）

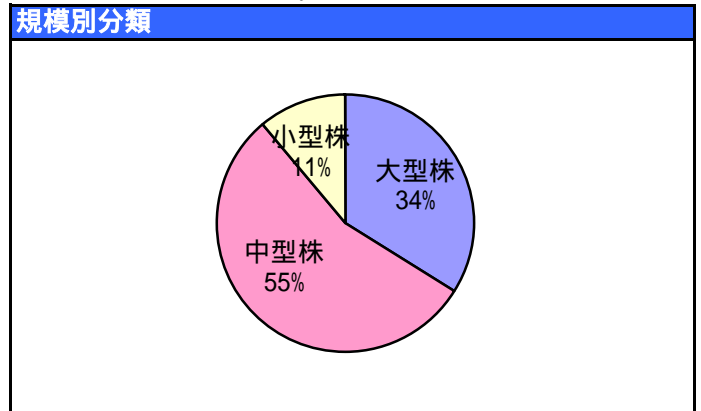
追加型投信 / 海外 / 株式
 月次運用レポート（2012年5月）

組入上位10カ国		
No	発行国	比率
1	米国	43.33%
2	フランス	9.89%
3	日本	8.53%
4	ドイツ	8.13%
5	英国	8.10%
6	ケイマン	5.03%
7	台湾	3.50%
8	アイルランド	3.09%
9	スイス	1.78%
10	香港	1.37%

比率は純資産総額に対する割合です。



1 比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
 2 セクターはインボックス アセット マネジメントの提供するデータに基づいて分類しています。



1 比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
 2 発行済株式時価総額を基準日の為替レートでドルに換算して以下の通り分類しています。（以下同じ）

小型株.....20億ドル未満
 中型株.....20億ドル以上100億ドル未満
 大型株.....100億ドル以上

組入上位10銘柄						
No	銘柄	国名	業種	規模	セクター	比率(%)
1	エアプロダクツ・アンド・ケミカルズ	アメリカ	化学	大型株		3.44
2	ジョンソン・コントロールズ・インコーポレーテッド	アメリカ	自動車部品	大型株		3.33
3	インベンシス	イギリス	機械	中型株		3.15
4	シュネデルエレクトリック	フランス	電気設備	大型株		2.89
5	スエズ・エンバイロメント	フランス	総合公益事業	中型株		2.88
6	ENNエナジー・ホールディングス	ケイマン諸島	ガス	中型株		2.78
7	リパブリック・サービシーズ	アメリカ	商業サービス・用品	中型株		2.72
8	ペノン・グループ	イギリス	水道	中型株		2.71
9	エマーソン・エレクトリック・カンパニー	アメリカ	電気設備	大型株		2.63
10	アメリカン・ウォーター・ワークス	アメリカ	水道	中型株		2.62

比率は純資産総額に対する割合です。

当ファンドのポートフォリオ構築に当たっては、クリーンエネルギー関連、水資源関連、廃棄物処理関連の3つのセクターに注目します。上記3つのセクターは今後変更される場合があります。

当資料は6枚ものです。
 P. 6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

D I A M世界環境ビジネスファンド（愛称：シロクマ）

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート（2012年5月）

4月のマーケット動向と当ファンドの動き

4月の外国株式市場は概ね下落する展開となりました。米国市場は月前半にかけて下落し、後半にかけて下げ幅を縮める展開となりました。月初に発表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事録はQE3(量的緩和第3弾)実施に対する市場の期待を後退させる結果となりました。また、その後発表された米国の雇用統計では非農業部門雇用者数が予想を下回る伸びにとどまりました。こうした中、月前半の米国株式市場は欧州債務問題への懸念も嫌気され、下落しました。月後半にかけては、好決算のアップルやマイクロソフトをはじめ概ね堅調な決算が発表されたことや、FRB(米連邦準備理事会)が米国の景気認識を上方修正したことなどが好感され、米国株式市場は月間の下げ幅を縮小しました。欧州市場では、月初にスペインの今年度予算の赤字が予想以上に大きい見通しとなったことを受けてスペイン国債の入札が不調となるなど、欧州債務問題への懸念が高まり、下落しました。月末にかけても、仏大統領選挙において、EU(欧州連合)内の緊縮財政を定めた新条約の見直しを求める社会党のオランド氏が第一回投票で最多得票となった他、緊縮財政を巡る連立与党間の対立を背景にオランダが内閣総辞職の意向を示すなど、欧州債務問題への懸念が投資家心理の重石となり、軟調に推移しました。アジア市場では、月初に発表された中国の製造業景気指数は予想を上回る結果だったものの、その後発表された中国の1-3月期のGDP(国内総生産)成長率は予想を下回る結果となりました。こうした中、アジア市場は概ね下落する展開となりました。また、月末には日銀の金融政策決定会合において追加緩和が決定されたものの、既に織り込まれていた以上の内容が出なかったこともあり、為替市場では円高が進行しました。

環境関連セクターは下落しました。クリーンエネルギー関連セクターでは、資本財関連銘柄が大きく下落しました。水資源関連セクターについてはフランスの水公益関連銘柄が下落した他、廃棄物処理関連セクターは日本の廃棄物処理関連銘柄などが下落しました。

投資行動としては、南欧の代替エネルギー関連企業を売却した一方、英国の流体制御関連銘柄や米国の電子計測機器関連銘柄への投資を実施しました。

テーマ別構成比は、クリーンエネルギー関連が約43%、水資源関連が約44%、廃棄物処理関連が約13%となっています。4月末の基準価額は3.27%下落しました。株式市場が下落する中、環境関連銘柄も下落しマイナスに寄与しました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

今後の外国株式市場の見通しについては、引き続き比較的大きなレンジで上下する展開を予想しています。欧州債務問題を巡っては一朝一夕の解決は難しく、依然として警戒すべき状況が続いています。一方、ECB(欧州中央銀行)は2回に及ぶ大規模な長期資金供給オペを実施した他、アジアでは金融政策を緩和する動きが見られます。米国ではFRBが異例の低金利政策を2014年後半まで続ける方針を発表しており、「QE3」と呼ばれる量的緩和を行う可能性が残されているなど、各国・地域で緩和的な金融政策を続けると見られます。また、米国の経済指標や企業業績も堅調さを維持しています。一方、年初から株価が大きく上昇してきたこともあり、短期的には利益確定の売りが出やすい状況です。以上の点から、株式市場は政策動向やマクロ経済動向に一喜一憂して上下する相場展開になることを予想します。

世界的な環境規制強化の流れは当ファンドが投資する企業にとって引き続き追い風であると考えます。アジアを中心にクリーンエネルギー関連投資の導入議論は続いています。日本の震災後に原子力発電の是非を巡る議論が欧州地域において高まっていることも注目されます。また、金融危機以降に取り組んだ経費節減努力が奏功し、当ファンドが投資する企業は景気回復時に利益が出易い体質へと変化しています。当ファンドが投資対象とする企業については、今後も魅力的な投資機会を提供しているものと考えます。

運用方針としては、環境関連ビジネスから収益を上げることが期待できる企業を世界各国から選別して投資します。特に「クリーンエネルギー関連」「水資源関連」「廃棄物処理関連」の3つの分野に着目して銘柄を選定します。株式組入比率については、高位を維持する方針です。また、息の長い成長テーマを有し、業績が良く財務も強固な銘柄を選別して組入れる方針です。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は6枚ものです。

P. 6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



D I A M世界環境ビジネスファンド（愛称：シロクマ）

追加型投信 / 海外 / 株式
月次運用レポート（2012年5月）

お申込みメモ（くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口 = 1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ロンドン証券取引所またはロンドンの銀行の休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2017年9月15日までです。(設定日:2007年9月19日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 ① 純資産総額が10億円を下回るようになった場合。 ② 受益者のために有利であると認めるとき。 ③ やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として6月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 ※「分配金自動引き落とし投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について（くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●購入時	
購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
●換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.8165%(税抜1.73%)を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は6枚ものです。

P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



DIAM世界環境ビジネスファンド（愛称：シロクマ）

追加型投信 / 海外 / 株式 月次運用レポート（2012年5月）

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点（2012年5月11日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

◆分配金に関する留意点◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

◆ファンドの関係法人◆

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > DIAM International Ltd
インパックス アセット マネジメント

◆委託会社の照会先◆

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

○印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会	備考
スルガ銀行株式会社	登録金融機関 東海財務局長（登金）第8号	○				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○		○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○		
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○		○		

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は6枚ものです。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

